ONKYO®

アンプ内蔵スピーカー

GX-500HD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

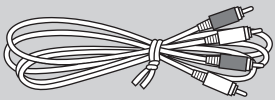
特長

■ A-OMF モノコック型振動板採用10cmウーファー
■ リング型3cmツイーター
■ 硬度が高く響きの良いMDF木製キャビネット
■ ハイクォリティ 40W+40Wアンプ搭載
■ 高品質音楽再生に対応する24bit/192kHzの光デジタル入力端子
■ アナログミキシングボリューム
■ デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する回路、「VLSC（Vector Linear Shaping Circuitry)」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現
■ オンキヨー独自開発のデジタルアンプ技術「VL Digital」を搭載

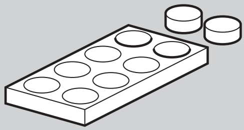
- VLSCの名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
- OMF®の名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。
- VL Digitalの名称、ロゴはオンキヨー（株）の商標です。

付属品

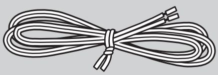
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表わしています。



● オーディオ用ピンコード 1.5 m（1）



● スペーサー（8）



● スピーカーコード 1.5 m（1）

● 取扱説明書（本書）（1）
● 保証書（1）
● オンキヨーご相談窓口･修理窓口のご案内（1）
● ユーザー登録カード（1）

防磁設計について

一般にパソコンやテレビに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどのデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、パソコンモニターなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置の仕方によっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度パソコンモニターなどの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。パソコンモニターなどの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合にはスピーカーをパソコンモニターなどから少しはなしてご使用ください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用によりパソコンモニターなどに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。

お手入れについて

表面は、時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。
固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。	高温注意　感電注意
⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。	分解禁止　ぬれ手禁止
●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。	電源プラグをコンセントから抜く　必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ 放熱を妨げない

禁止

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面から2cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

⚠警告

電源コード・電源プラグに関するご注意

■ 電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。
電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のダクトから異物を入れない

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗らないでください。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■ 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災·感電の原因となります。

■ 電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

⚠注意

■ **長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く**



電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ **電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む**



禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ **お手入れの際は電源プラグを抜く**



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■ **音量に注意する**



必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■ **長時間大きな音でヘッドホンを使用しない**



禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ **キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない**



禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■ **移動時は電源プラグや接続コードをはずす**



電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■ **本機の上にものを乗せたまま移動しない**



禁止

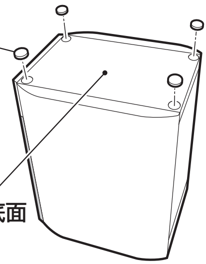
本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ **機器内部の点検について**

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

付属のコルクスペーサーを使う

より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。



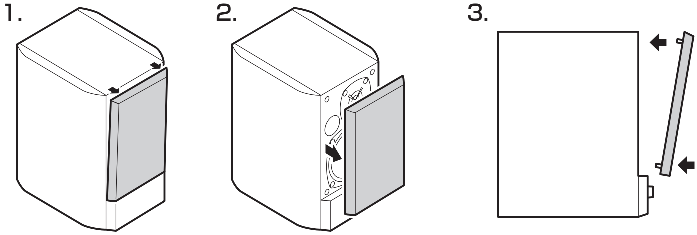
サランネットの着脱

本機は前面のサランネットを取り外すことができます。サランネットを付けたり、外したりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの上側を両手で持ち、手前にゆっくりと引っ張り、サランネットの上側の取り付けピンを本体から外します。

   ご注意 サランネットを大きく傾けないようにしてください。大きく傾けると、下側の取り付けピンが破損する恐れがあります。

2. サランネットの横を両手で持ち、左右交互にゆっくりと手前に引きながら、下側の取り付けピンを本体から外してください。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある取り付けピンを本体のサランネット取り付けホルダーに合わせて押し込みます。



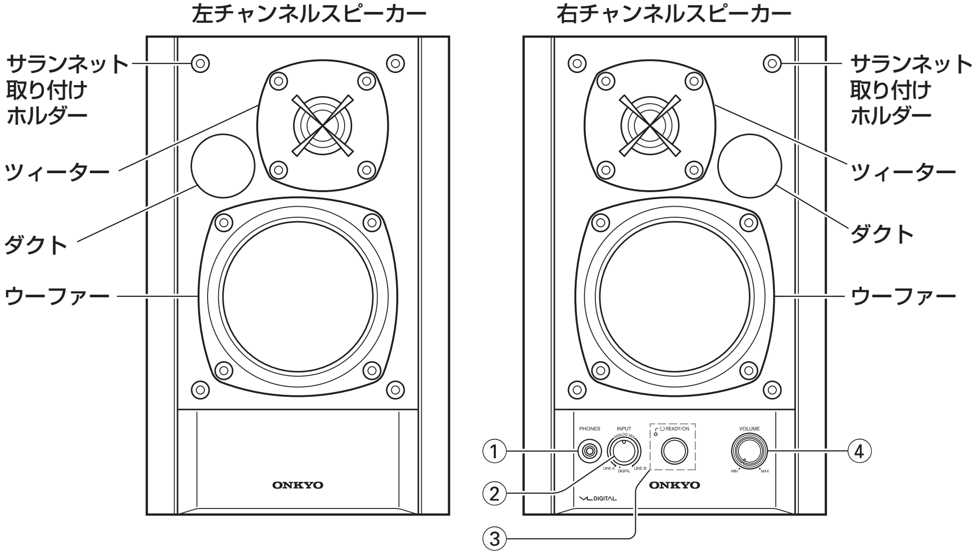
取り外し　　取り付け

設置について

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房器具の近く、湿気の多いところは避けてください。
- 本機は立てた状態で使用されるように設計されておりますので、寝かせたり、傾けたりしないでください。
- 本機は通常のご使用には十分耐えられますが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  ① オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
  ② ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
  （抜き差し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。）
  ③ マイク使用時のハウリング
- スピーカーと設置場所との間は面接触より点接触のほうが一般的によい結果が得られます。またガタツキがあると質の良い低音が得られなくなりますので付属のコルクスペーサーやコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。
- 本機の背面部はご使用の状況により、高温になることがあります。カーテンなどの可燃物への接触や、火傷にご注意ください。

各部の名前と主な働き

■前面パネル



① **ヘッドホン端子（PHONES）**

ステレオミニプラグのヘッドホンやイヤホンを接続します。接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

② **入力切換ツマミ（INPUT）**

アナログ入力とデジタル入力の切り換えを行います。アナログ入力時は背面のANALOG IN A端子に接続した機器とANALOG IN B端子に接続した機器の音声をミックスするときに調整します。

③ **レディー/オンスイッチとインジケーター（READY/ON）**

背面パネルの主電源スイッチが「ON」のときに、電源のオンとレディー（動作休止状態）を切り換えます。電源がレディー状態のときは、インジケーターが赤色に点灯します。オン状態のときは、青色に点灯します。

ご注意

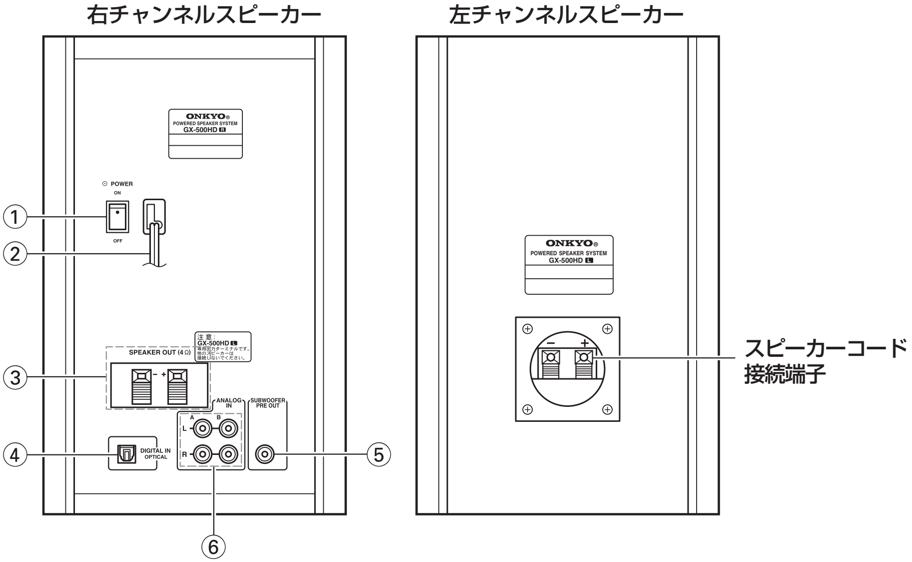
レディー状態でも、背面パネルの主電源スイッチがONになっていると回路には電流が流れています。そのため、背面のパネル部が熱くなりますが異常ではありません。

④ **ボリュームツマミ（VOLUME）**

ツマミを右に回すと徐々に音量が大きくなります。ツマミを左に戻すと音量が小さくなります。

スピーカーユニット（ウーファー、ツィーター）部には触れないでください。
特に本機のツィーターの振動板には非常にデリケートな材料が使われています。物があたったり、手で触れると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

■背面パネル



① 主電源スイッチ（POWER）

内蔵アンプの電源スイッチです。「ON」にすると、前面のレディー/オンインジケーターが青く点灯します。「ON」のときは前面のレディー/オンスイッチでレディー状態とオン状態を切り換えることができます。
長期間本機を使用しない場合には、この主電源スイッチを「OFF」にしてください。

② 電源コード

③ 左チャンネル用スピーカー出力端子（SPEAKER OUT）

左チャンネルのスピーカーと接続するための端子です。接続には付属のスピーカーコードを使用してください。

④ 光デジタル入力端子 (DIGITAL IN OPTICAL)

光デジタル信号の入力端子です。オーディオ用光デジタルケーブルを使用してください。（本機には付属していません）

ご注意
本機はDVDなどのマルチチャンネル信号には、対応していません。

⑤ サブウーファー出力端子（SUBWOOFER PREOUT）

本機とお手持ちのアンプ内蔵サブウーファーとを接続するための端子です。

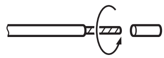
⑥ アナログ信号入力端子（ANALOG IN A/B）

アナログ信号の入力端子です。付属のオーディオ用ピンコードを使用してください。

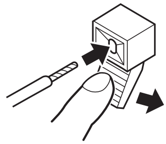
左右のスピーカーを接続する

付属のスピーカーコードで左チャンネルスピーカーと右チャンネルスピーカーを接続します。
右チャンネル用スピーカーのプラス⊕と左チャンネル用スピーカーのプラス⊕を、右チャンネル用スピーカーのマイナス⊖と左チャンネル用スピーカーのマイナス⊖を接続します。スピーカーコードの赤色の線側をプラス⊕に接続してください。

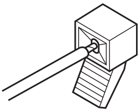
1.ビニールカバーをはずし、コード先端のしん線部をよじります。

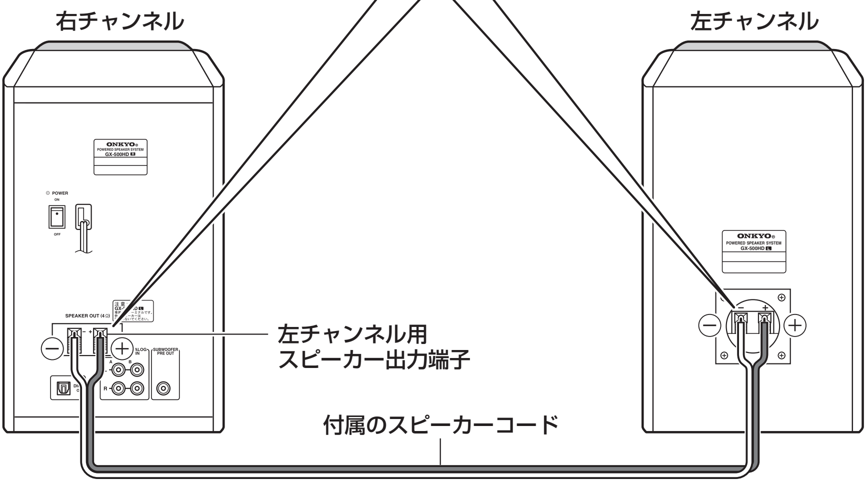


2.スピーカー端子のレバーを押しながら、コードの先端を奥までしっかりと差し込みます。



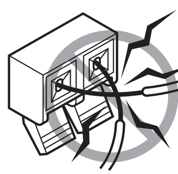
3.指を離すとレバーが戻ります。
コードを軽く引っ張ってみて、確実に接続されているかどうか確認してください。
スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。





ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れる前には、必ずボリュームツマミを左に回して「MIN（ミニマム）」の位置にしておいてください。また、本機に接続する他の機器の電源も入れないでください。
- 「左チャンネル用スピーカー出力端子」は左チャンネルスピーカーを接続する専用の端子です。他のスピーカーやアンプは接続しないでください。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。接触したまま動作させると右チャンネルスピーカー内蔵アンプの故障の原因となります。

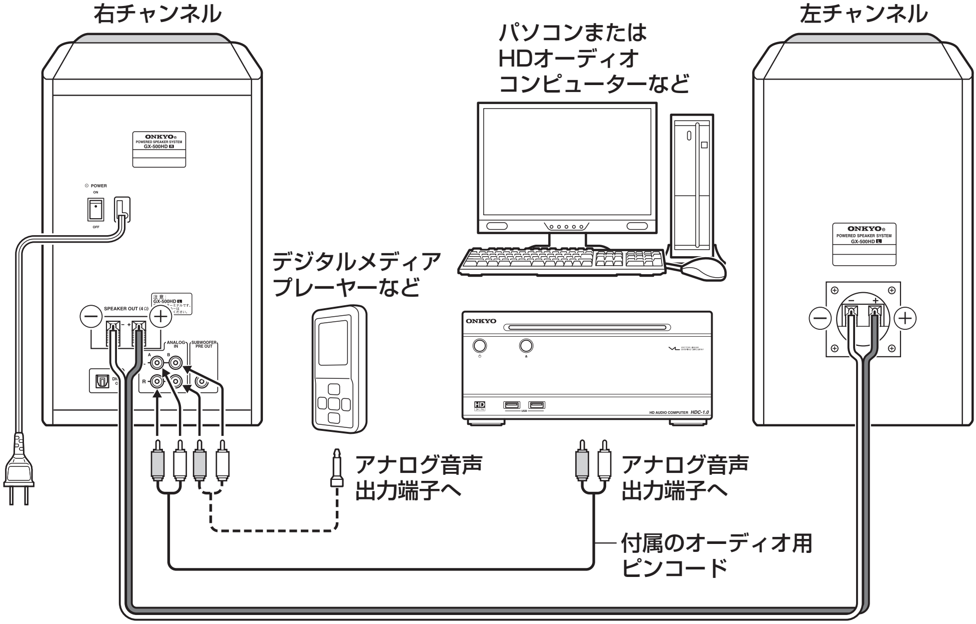


外部機器との接続のしかた

本機には光デジタル入力端子と2つのアナログ入力端子があり、最大で3種類の音声機器やPC（パソコン）機器を接続することができます。

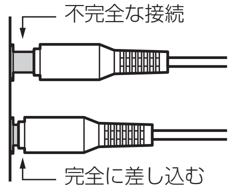
■ アナログ入力を接続する場合

オーディオ機器、パソコン本体またはサウンドボードのアナログ音声出力端子と本機のANALOG IN AまたはB端子を付属のオーディオ用ピンコードで接続します。（R端子には赤いプラグを、L端子には白いプラグを差し込んでください）



ご注意

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。
- 付属のオーディオ用ピンコード、スピーカーコード、電源コードは、いっしょに束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

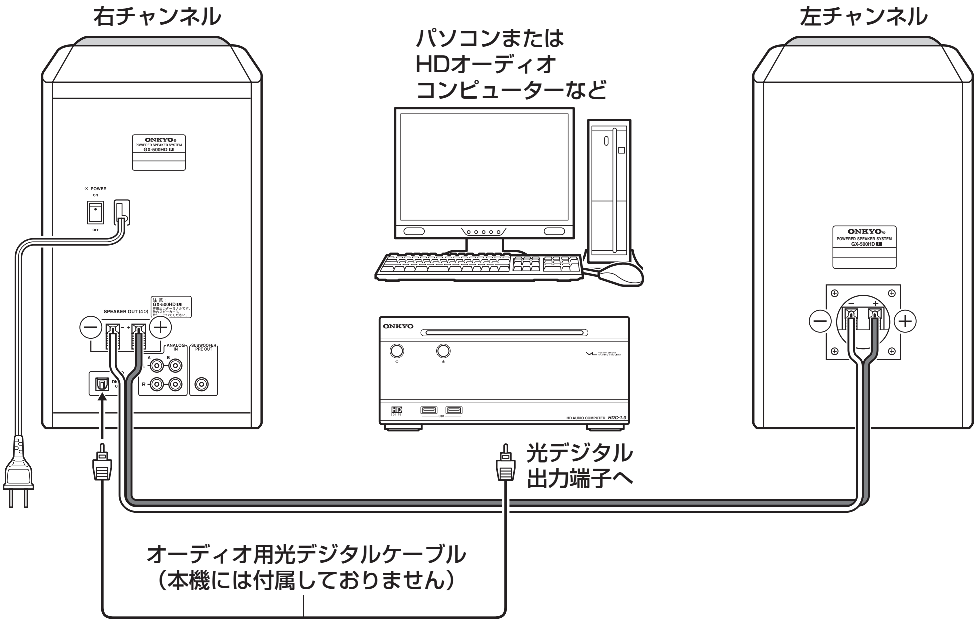


■ デジタル入力を接続する場合

オーディオ機器、パソコン本体またはサウンドボードのデジタル音声出力端子と本機の光デジタル入力端子を接続します。

接続する機器の光デジタル出力端子を本機のDIGITAL（デジタル） IN（イン） OPTICAL（オプティカル）端子に、オーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。（オーディオ用光デジタルケーブルは本機に付属していません。）

● デジタル信号は、左右の音声信号が1本の接続コードで通信されます。

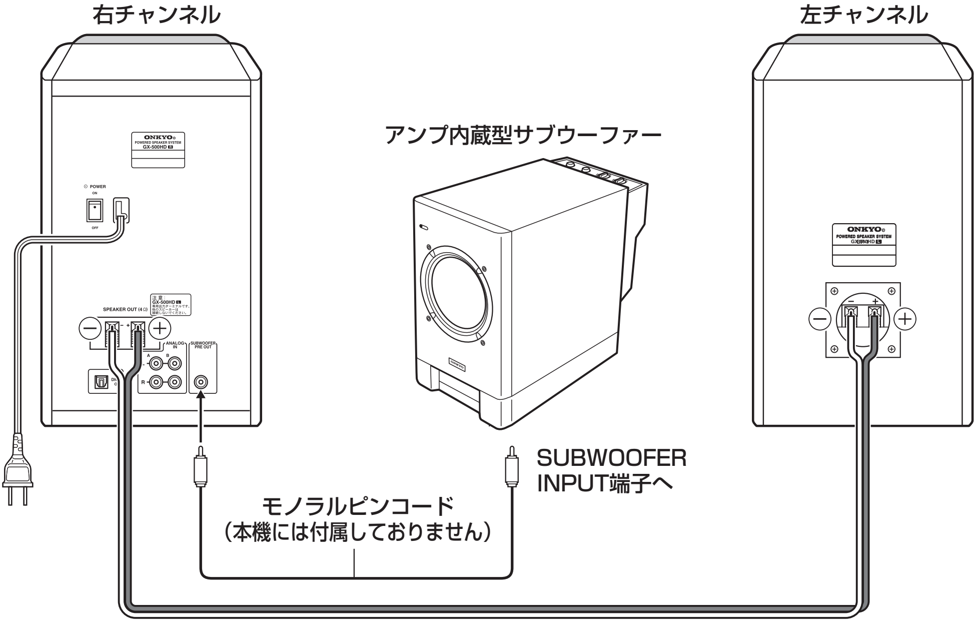


ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 本機のDIGITAL IN OPTICAL端子はとびらタイプですので、とびらをそのまま奥に倒すようにしてオーディオ用光デジタルケーブルを差し込んでください。

サブウーファーとの接続のしかた

本機のサブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）の出力は、左右の信号をミックスした信号で高域成分を含んでいます。
接続するサブウーファーは、ハイカットフィルターおよびボリューム内蔵のものを使用してください。
また、サブウーファーは、メーカー、機種により入力感度が異なります。ご使用になるサブウーファーによりレベルを調整してお楽しみください。

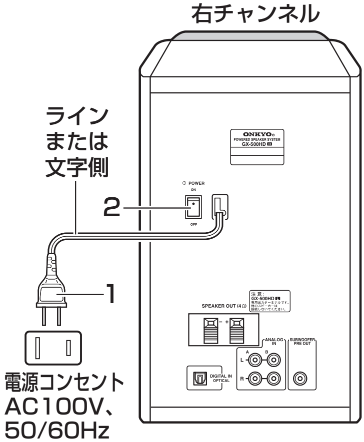


ご注意

- サブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）とサブウーファーの入力端子を、モノラルピンコードで接続してください。（モノラルピンコードは本機には付属していません。）
- 電源を入れる前に、サブウーファーのボリュームを必ず最小の位置にしておいてください。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

電源を入れる

すべての接続が完了してから、右チャンネルスピーカーの電源プラグをコンセントに接続してください。



1.電源コードをつなぐ

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

！ヒント

より良い音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。
電源コードの片側にラインまたは文字の入っている側を家庭用電源コンセントの溝が長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらに接続してもかまいません。

2.電源を入れる

背面パネルの主電源スイッチを「ON（オン）」側にしてください。前面のレディー/オンインジケーターが青色に点灯します。

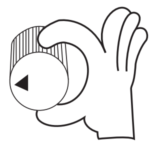
- 前面のレディー/オンスイッチ（READY/ON）を押すとレディー状態になり、レディー/オンインジケーターが赤色に点灯します。

ご注意

電源を入れてから回路が安定するまで約5秒間は、音が出ません。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



入力を切り換える

背面の各入力端子に接続された機器を選択します。

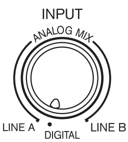
●アナログ/デジタルの切り換え

入力切換ツマミ（INPUT（インプット））で、アナログ機器/デジタル機器の切り換えを行います。

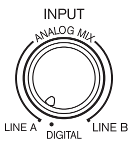
●A-Bの切り換え

入力切換ツマミ（INPUT）で背面のANALOG（アナログ） IN（イン） A端子に接続した機器とANALOG IN B端子に接続した機器を選びます。A点とB点の間にあるときは、Aに接続した機器とBに接続した機器の音声をミックスすることができます。お好みでバランスを調整してください。

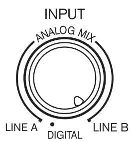
DIGITAL IN OPTICAL端子に接続した機器を選ぶ



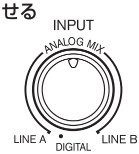
ANALOG IN A端子に接続した機器を選ぶ



ANALOG IN B端子に接続した機器を選ぶ



Aに接続した機器とBに接続した機器の音声をミックスさせる



困ったときは

下表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もありますので、他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	●電源プラグの差し込みが不完全。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。（13ページ）
音が出ない。	●ボリュームツマミが最小になっている。 ●オーディオ用ピンコードやスピーカーコードの接続が不完全。 ●入力切換ツマミの位置が不適切。 ●ヘッドホンが接続されている。 ●保護回路が働いている。（レディ/オンインジケーターが赤色に点滅している場合） ●DVDなどのマルチチャンネル信号が入力されている。	●適当な音量にしてください。（13ページ） ●オーディオ用ピンコードやスピーカーコードを正しく接続してください。（9～12ページ） ●アナログ/デジタルA/Bの切り換えを行ってください。（13ページ） ●ヘッドホンが接続されている場合、スピーカー、サブウーファーからは音が出ません。ヘッドホンを外してください。 ●スピーカコードのしん線部の⊕、⊖が接触していないか確認してください。 ●背面の主電源スイッチを「OFF」側にして、電源コードをコンセントから抜いてください。約10秒後に再度電源コードを差して、主電源スイッチを「ON」側にしてください。それでも点滅しているときは、電源プラグを抜いてお買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。 ●本機の光デジタル入力端子は、ステレオ信号のみに対応しています。
音が小さい。	●ボリュームツマミの位置が不適切。 ●接続機器の音量が不適切。	●正しい位置にあわせてください。（13ページ） ●接続機器の音量を適切にしてください。
片方のスピーカーからしか音が出ない。	●接続が不完全。	●オーディオ用ピンコードを正しく接続してください。（10ページ） ●スピーカーコードを正しく接続してください。（9ページ）
ブーンというハム音が入る。	●テレビ等からの誘導雑音。 ●アナログ入力端子の接続が不完全。	●雑音源より離してください。 ●オーディオ用ピンコードを正しく接続してください。

本機はマイクロコンピューターによりアンプ制御を行っていますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ご注意

- 低域や高域を極端にブースト（増強）したり、低域や高域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音を発生する場合があります。これは故障ではありませんが、このような状態で長時間ご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量を下げてご使用ください。
- 本機の光デジタル入力端子はステレオ信号のみに対応しています。一般的なステレオ音楽信号以外の信号を光デジタル入力端子に入力しないでください。本機のアンプやスピーカーユニットが故障する原因となります。

主な仕様

形式	Rチャンネル：アンプ内蔵2ウェイバスレフ型、Lチャンネル：2ウェイバスレフ型
定格周波数範囲	50Hz～100kHz
クロスオーバー周波数	3.5kHz
実用最大出力	40W+40W（4Ω・JEITA）
入力インピーダンス	10kΩ以上
入力感度	200mV
キャビネット内容積	5リットル
使用スピーカー	ウーファー：10cm A-OMF モノコック型　ツィーター：3cmリング型
電源	100V（50/60Hz）
消費電力	40W
入出力端子	デジタル入力×1（光）、アナログ入力×2（RCAステレオ） サブウーファー出力×1（RCAモノ） ヘッドホン出力端子×1（φ3.5mm/ステレオ）
外形寸法	Rチャンネル：169(W)×263(H)×240(D)mm　サランネット、ターミナル突起部含む Lチャンネル：169(W)×263(H)×215(D)mm　サランネット、ターミナル突起部含む
質量	Rチャンネル：6.4kg、Lチャンネル：4.3kg
その他	防磁設計（JEITA）、サランネット脱着可

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　GX-500HD
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　年　月　日

ご購入店名：

Tel.　(　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎ 050-3161-9555　受付時間　10：00～18：00
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

G0901-1

SN 29400001

29400001